

事業所名	療育センター エコルド		作成日	2026年6月7日
対象・サービス	医療的ケア児・重症心身障害児を主な対象とした児童発達支援・放課後等デイサービス		営業時間	9:00~18:00
送迎実施	あり（車椅子対応の福祉車両を使用）		職員体制	児発管・児童指導員・看護師・作業療法士
法人（事業所）理念	医療的ケアや重い障害があっても、子ども本人が安心して「できた」「伝わった」「楽しい」を積み重ね、家庭・学校・地域の中でその子らしく生活できるよう支援します。			
支援方針	重度障害児への支援経験が豊富な管理者兼児童発達支援管理責任者を中心に、児童指導員・看護師・作業療法士が個別支援計画に基づいて多職種で支援します。小児医療・特別支援学校等の経験を有する看護師を配置し、主治医、嘱託医（地域の訪問診療専門医療機関の院長）、学校、相談支援事業所と連携しながら、医療安全と発達支援を一体的に提供します。			
支援内容（本人支援）				
健康・生活	来所時・活動中・帰宅前のバイタル確認、呼吸状態、摂食・水分、排泄、姿勢、疲労を観察します。医師指示書・個別手順書に基づく医療的ケアを看護師が中心に実施し、ダブルチェック、記録、ヒヤリハット共有により医療事故防止を徹底します。生活面は将来の生活力向上を意識し、本人のペースで参加できるよう支援します。			
運動・感覚	重症心身障害児であっても残存する運動・感覚機能を評価し、ポジショニング、関節可動域、視覚・聴覚・触覚刺激、遊びを通じた粗大・微細運動を行います。作業療法士等がデジタルリハビリツールも活用し、子ども本人が楽しみながら主体的に訓練へ参加できる機会をつくります。			
認知・行動	医療的ケア児・重症心身障害児の特性を踏まえ、活動場所、時間、手順、終わりを視覚化して構造化します。次の活動や選択肢を絵カード、写真、スケジュールで示し、見通しをもった行動、情緒の安定、SST等による社会的ルール理解を支援します。			
言語・コミュニケーション	発声、表情、視線、身振り等のサインを丁寧に読み取り、マカトンサイン、絵カード、スイッチ等のAACを活用します。「伝えたい」「伝わった」という経験を重ね、言葉以外の方法も含めて意思表出とコミュニケーションの楽しさを広げます。			
人間関係・社会性	職員との二項関係から、物・活動を介した三項関係、子ども同士の関わりへ段階的に広げます。必要に応じ職員が間に入り、相手への気づき、順番、共同活動を支援します。外出、季節行事、地域資源の活用により、事業所内に閉じない社会経験を増やします。			
家族支援	家庭での医療的ケア、生活リズム、発達課題を共有し、保護者の不安や負担に寄り添います。家庭で取り組みやすい姿勢、遊び、コミュニケーション方法を助言し、面談、連絡帳、相談支援専門員との連携を行います。	移行支援	就園、就学、進級、学校生活、卒業後を見据え、保育所、幼稚園、学校、医療機関、相談支援事業所等と情報共有します。医療的ケア手順、環境調整、本人の意思表出方法が途切れないよう支援します。	
地域支援・地域連携	主治医、嘱託医、訪問看護、学校、行政、相談支援と連携します。緊急時対応、感染対策、災害時支援、送迎時の安全確認を共有し、安心して地域生活を続けられる体制を整えます。	職員の質の向上	小児医療・特別支援学校等で経験のある看護師、作業療法士、児童指導員が連携します。医療的ケア、重症心身障害、虐待防止、身体拘束適正化、感染対策、緊急時対応、権利擁護、SST・AAC等の研修とケース会議を継続します。	
主な行事等	季節行事、音楽・感覚遊び、制作、デジタルリハビリ、外気浴・地域散策、学校休業日の特別活動、避難訓練、保護者参加・相談の機会等を、医療安全と体調に配慮して実施します。			